

第5学年 社会科学習指導案

日 時 平成20年9月11日(木) 5校時
場 所 久慈市立小久慈小学校5年2組
児 童 男子17名 女子8名 計25名
指導者 松本 一純

1 単元名 わたしたちの生活と工業生産 「1 自動車をつくる工業」

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領社会科の第5学年の目標の(1)「我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展に関心をもつようにする。」(3)「社会的事象を具体的に調査し、地図・統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、社会的事象の意味について考える力を育てるようにする。」を受けて設定する。

私たちの生活は、様々な産業によって成り立っている。様々な産業に従事する人々が、社会的条件や自然環境に働きかけたりそれらを生かしたりして生産を高めていることが、国民生活を支えていることや豊かにしていることを児童にとらえさせたい。

現在、ほとんどの家庭が自動車を所有し、毎日必ず目に見ている。そして、私たちが生活していくうえで欠かすことのできないものとなっている。そのため、児童にとっても身近なものであり、興味・関心を持ちやすい教材であると考えられる。また、自動車は、様々な工業製品を組み合わせられて生産されているので総合工業といわれており、自動車工業の発展は、日本の工業の発展にもつながり、国民生活の向上に大きく関わっているといえる。

自動車工業に従事する人は、「かんぱん方式」や「ジャスト・イン・タイム」や「指示書」などのシステムによって組み立て工場と関連工場を結びつけることを考え出したり、高速道路などの交通の便がよいところ・互いに近い距離に工場を立地したりするなどして、常に、消費者のニーズに応えたり、生産性を高めたりするために努力や工夫をしながら生産活動に励んでいる。また、今日的・世界的課題解決のため環境に配慮した自動車の開発にも取り組んでいる。これらは、仕組みは違うけれど、どの産業でも同じようなことがいえる。そのため、既習の農業や水産業と関連付けながら、概念を形成していきたい。

自動車工業は、世界ともつながっている産業である。そこには利点だけでなく、貿易摩擦や産業の空洞化など様々な問題も起きている。これからの自動車工業の在り方について、学習したことをもとに思考・判断し、児童間の価値観を交流することで、合理的意思決定能力を育てていきたい。

(2) 児童について

これまで、資料から情報を読み取る学習を様々な単元を通して行ってきた。ほとんどの児童が、グラフから数値や変化などの情報を読み取ったり、写真などの映像資料からその場の状況などを読み取ったりすることはできるようになってきている。しかし、問題解決に必要な情報を選択し、それらを活用する力は不十分であるので高めていきたい。

学習した社会的事象について、学習したときだけは単語として覚えることはできるが、時間が経つにつれて忘れることが多い。これは、学習した社会的事象が児童の中で生きた知識として構成されていないためだと考える。社会的事象を関連付けたり、因果関係を推理・思考したりする学習を展開することで、思考・判断していく力を育てていきたい。

(3) 指導について

本小単元では、以下の目的で資料を用いていく。

<学習への意欲を喚起する役割>

まず、学習の導入の段階で、子どもたちを惹きつけることが大切だと考える。そのために、児童が「すごい!」「えっ〜」「何で?」などと疑問を持ったり、驚いたりするような資料を提示する。学習に対して、児童が受動的ではなく、意欲的に取り組ませる手立てとして有効だと考える。

<学級の学習問題となる情報を見つける役割>

児童の「知りたい」「調べたい」という思いから出発し、追究していく力を育てていくためには、教師側が学習問題を設定するのではなく、児童のつぶやきや思いから学習問題を設定することが望ましいと考える。その手立てとして、資料の提示の工夫があると考える。

<学習問題に対する自分の仮説・予想を検証するための役割>

問題に対して、自分の経験や既習の知識をもとに仮説を立て、それを検証するために資料を活用させたい。児童は、問題の解決や仮説の検証を進めていくのにまだ資料を効果的に活用することはできない。そのため、資料のどの部分を見ればいいのか、どのキーワードに着目すればいいのかなど児童の実態に応じて適宜助言していく。

次に、単元を通して、児童が獲得していく知識(情報)をどのように関連付け、活用させていくのかを考えて授業を設計する。例えば、単元の中で「高速道路が南北に走っている。」「豊田市には組み立て工場がたくさんある。」などの情報を獲得していく。そのとき、情報が個々にばらばらでは、生きたものとならないし暗記となってしまう。しかし、「高速道路が走っている場所では、交通の便がよいので多くの工場が立地する。」などのように児童の中で新たな社会的事象を捉えられる高い質の情報に変わることができたならば、その後の社会生活に生きた情報となると考える。

単元の最後では、未来の車について考えさせることで価値判断を児童に問う時間を設定し、それまで学習してきたものを総動員して児童に価値判断をさせたい。その時、うわべだけの正論から導き出された価値判断ではなく、社会の現状や自分の生活、未来への影響を考えた価値判断をさせたい。

3 単元の目標と評価規準

	関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用の技能表現	知識・理解
目 標	自動車工場の生産の様子について意欲的に調べ、安全や環境のことを考えたこれからの自動車開発に関心を持ち、すすんで学ぼうとしている。	自動車が効率よく安定して生産されているわけについて、働く人々の努力や関連工場とのつながり、機械化や運輸の工夫などと関連付けて考えることができる。	写真・インターネットなどの映像資料、各種の統計資料などを目的に応じて活用し、自動車生産の特色をおさえることができる。	自動車生産とその特色、これからの課題について理解している。
評 価 規 準	自動車工場の生産の様子について意欲的に調べ、安全や環境のことを考慮した未来に向かっての自動車開発に関心を持ち、将来の自動車社会の在り方について自分なりの考えをもとうとする。	自動車が効率よく安定して生産されているわけについて、働く人々の努力・関連工場とのつながり、機械化・運送の工夫などと関連付けて判断したり推理したりすることができる。 これからの自動車社会の在り方について学習したことをもとにし、未来を予想しながら自分の考え発信することができる。	教科書・資料集・写真・インターネットなどの資料を目的に応じて適切に活用し、必要な情報や社会事象などを読み取ることができる。 資料から読み取った正しい情報(事実)を関連付けながら考え、そこから作り出した自分の考えを相手に伝えることができる。	自動車が効率よく生産されていること、自動車工業に携わる人々がさまざまな努力や工夫をして自動車を生産していること、これからの自動車工業の課題について獲得した知識を関連付けながら理解している。

4 指導計画

過程	単位時間ごとの計画				評価基準			
	単元	時	目標	活動内容・活動	関心・意欲・態度	社会的思考・判断	観察・資料活用の技能表現	知識・理解
つかむ	オリエンテーション わたしたちの生活をとりまく工業製品	1	工業の意味を知り、身の回りから、工業製品を探す。 わたしたちの生活は、工業製品に支えられていることに気づく。	工業について知る。 身の回りから、工業製品を探す。	わたしたちの身の回りにあふれている工業製品を意欲的に探している。			原材料を加工し、形や性質の違うものへ変化させることが工業であることを理解し、工業製品がわたしたちの生活を支えていることがわかる。
	自動車をつくる工業 自動車工業について学習課題をたてよう。	3	自動車工業について関心を持ち、自動車の生産過程や従業員の努力や工夫について課題をもつことができる。	工業の中で、日本が世界で誇れる自動車工業についての関心を深め、自動車工業についての学習課題を持つ。	日本の自動車が、世界で多くの需要を得ているところから日本の自動車工業に関心を持ち、学習課題を作ることができる。			
調べる	自動車工場を見学しよう	1	自動車がどのような仕組みで生産されているのか予想し、調べたいことを整理する。	自動車工場では、どのように自動車が生産されているのか予想する。 豊田市について調べる。	自動車工場の生産方法について関心を深め、意欲的に調べようとする。		地図帳や教科書などの資料から、豊田市の特徴を的確に捉えることができる。	
	自動車づくりのくふう	2	インターネットや教科書・資料集から、自動車が完成するまでの製造工程や人々の努力を調べることができる。	インターネットや各種資料をもとに自動車の生産過程を調べ、製造過程をまとめる。 調べたことを交流し、働いている人の努力や工夫についてまとめる。	自動車の製造過程を意欲的に調べることができる。		写真や教科書の資料などから、自動車次々と作られている秘密をさがすことができる。	
	自動車の部品をつくる工場	1 本時	自動車の部品工場が、組み立て工場の注文に従って、仕事を円滑に進めるためにいろいろな工夫をしていることをおさえる。	資料から、組み立て工場と関連工場の結びつきを調べ、効率よく自動車を生産するための努力や工夫について考える。			資料から、組み立て工場と関連工場とがいろいろな工夫でつながり、自動車を効率よく生産していることを読み取ることができる。	
	消費者のもとへ運ばれる部品	1	効率よく自動車を生産させるための努力や工夫について資料をもとに考えることができる。 自動車や部品がどのように運ばれていくのか調べ、消費者の注文した自動車が届くまでの工夫を調べる。	自動車をつくる部品が指示書やジャストインタイムで運ばれてくることや、出来上がった自動車は国内外に運ばれることを調べる。			資料からの確かな情報を読み取り、課題解決に活用できる。	
	世界に広がる工場	1	日本の自動車会社の工場が、世界に広がっていることを捉え、自動車の生産の仕方が変化していることを理解することができる。	自動車工場が世界各国に広がっていることと、自動車生産台数や輸入台数・輸出台数などの生産の変化とを関連付けながら考え、その理由を理解することができる。		海外での生産台数や輸出台数などの資料を関連付け、その要因を考えることができる。		日本の工業が、世界とのつながりの中で発展してきていることを生産の仕方の変化から理解する。
	ハイブリットカーの誕生	1	ハイブリットカーと普通自動車の違いを調べ、ハイブリットカーが開発された背景について理解することができる。	ハイブリッドカーが開発された背景を知り、普通乗用車との違いを調べ、現在の社会状況について理解する。	ハイブリットカーを開発した人々の努力や工夫に関心を持ち、ハイブリットカーと普通自動車の違いなど積極的に調べている。			ハイブリットカーが作られた背景をもとに、ハイブリットカーが環境にやさしくつくられていることについて理解する。
	ハイブリットカー開発のひみつ	1	ハイブリットカー開発の秘密を調べ、開発の工夫や努力について理解する。	ハイブリットカーが開発されるまでの工夫や努力を調べる。	ハイブリットカー以外にも、環境や人にやさしい車の開発にはどのようなものがあるのか積極的に調べている。			ハイブリットカーが開発されるまでの努力や工夫について、資料や友達との発表から理解を深めることができる。
まとめ	これからの車社会	1	人と環境に優しい自動車づくりを目指して、どのような研究や開発がされているかを調べ、ノートにまとめ、友達を意見交流することができる。	人や環境にやさしい自動車を開発してきた人々の努力や苦労を調べ、ノートにまとめる。	人や環境にやさしい自動車の開発について意欲的に調べている。		これからの車社会について調べたことを生かし、自分の考えをノートにまとめることができる。	
		1	学習してきたことや現在の社会の状況をもとにして、未来を予想しながらこれからの車社会について自分の考えを持つことができる。	未来の自動車社会について意見交流し、それぞれの考えを深める。		学習してきたことを生かして、これからの車社会の在り方について自分の考えを持ち、交流し深めることができる。		

5 本時の指導

(1) 目標

【観察・資料活用の技能・表現】

資料から、部品をつくる関連工場が指示書通りに部品を製造したり、ジャスト・イン・タイムで組み立て工場に届けたりしているのを自動車が効率よく生産されていることを読み取ることができる。

(2) 具体の評価規準

評価規準	具体の評価規準		努力を要する 児童への手立て
	十分満足できる状況	概ね満足できる状況	
【観察・資料活用の技能・表現】 資料から、部品をつくる関連工場が指示書通りに部品を製造したり、ジャスト・イン・タイムで組み立て工場に届けたりしているので自動車が効率よく生産されていることを読み取ることができる。	組み立て工場と関連工場との間にある様々な工夫や努力を知るために、適切な資料の中から必要な情報を読み取り、それらは自動車を効率よく生産するためのものであることに気づくことができる。	組み立て工場と関連工場との間にある工夫や努力について、適切な資料を選び、そこから解決や検証に必要な情報を読み取ることができる。	問題を解決するためにどの資料を見ればよいのかを教師が助言する。 工夫を見つけられない児童には、組立工場の工夫を想起させ同じ工夫をとらえさせる。

(3) 本時の展開

過程	学習内容・活動	指導上の留意点と評価	資料等
つ か む 10 分	<p>1 自動車は約3万個の部品からできていることをとらえる。</p> <p>○全部で何個の部品からできているのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・500個 ・1000個 ・3万個… <p>○実物の部品（メーター）を提示し、その部品だけで多くの部品を使っていることをとらえる。</p> <p>○1台の自動車で約3万もの部品が使われていることを伝える。</p> <p>○部品の数が3万点もあるということについての感想を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなに部品が多いとは思わなかったから驚いた。 ・もっと部品はたくさんあると思っていた。 <p>2 学習課題を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 部品は、どこでどのようにつくられているか調べよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵をもとにして自分の考えや予想をしつかりもたせ、発表させたい。 ・部品の実物を提示することで、部品の多さをより具体的に実感させる。 ・ここで児童の素直な感想を交流させたい。 ・児童の感想や疑問に思ったことなどを交流する中から、できるだけ本時の学習課題を設定するようにする。 	<p>資料1 自動車の部品を示した自動車の絵</p> <p>実物資料 メーター</p>
調	<p>3 予想を立てる。</p> <p>○予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場の中には、部品を作る工場がたくさんある。 ・工場以外のところで部品を作っている。 ・みんなで仕事を分けた方が簡単に作ることができそう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が、工場という言葉をつかったときは、「組み立て工場」なのか「それ以外の工場」なのかはっきりさせる。 ・「どこで」と「どのように」の予想を整理する。 	

<p>べ る</p> <p>30分</p>	<p>4 「どこで」の部分を知る。 ○多くの部品が関連工場で作られていることを知る。</p> <p>5 「どのように」について、資料をもとに調べる。 ○自動車のシートは、どのように作られているのかを教科書や資料集から調べ、問題の解決に必要な情報を読み取る。 ・指示書によって必要な分だけシートを作っている。 ・組み立て工場のラインに合わせて部品を届けている。 ・ジャスト・イン・タイム方式</p> <p>6 調べてわかったことを発表し、交流する。 ・指示書をつかって間違わないようにシートを生産している。 ・ジャスト・イン・タイムで必要ときに必要な分だけ部品を運んでいる。 ・部品を作る工場をわけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・用語「関連工場」について、説明する。 ・関連工場の具体的な例として本時はシート工場を取り上げ、調べていくことを知らせる。 ・調べる方法を確認する。 <p>*読み取らせる手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の中の「どのように」とは、生産性を高めるための工夫であることをおさえる。 <p>【観察・資料活用の技能・表現】 課題解決に迫る適切な資料を見つけ、そこから、解決に必要な情報を読み取ることができる。(ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級全体での交流の前に、児童の実態に応じて、隣同士での交流・班での交流などの段階を組む。 ・組み立て工程で、消費者の要望に合わせて、指示書によって1台ずつ自動車を生産していたことをとらえさせる。 ・ジャスト・イン・タイムの補足をする。 ・組み立て工場と関連工場とが、指示書などによって結び付いていることで効率よく部品を生産していることをとらえさせる。 	<p>調べる資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・資料集 ・地図帳 <p>資料2 教科書や資料集の写真や絵</p>
<p>ま と め る</p> <p>5分</p>	<p>7 本時の学習をまとめる。 ○本時に学習したことを児童一人一人が自分の言葉でまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>部品は、関連工場で、指示書通りにつくられ、ジャスト・イン・タイムで組み立て工場にとどけるという工夫をしている。</p> </div> <p>8 次時の学習の確認をする。 ○次時の学習について見通しを持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キーワードをもとに、児童が調べた言葉をできるだけ使ってまとめる。 	

(4) 板書計画

9月11日

自動車の絵

部品

ハンドル・タイヤ・シート
フロントガラス・ボンネット
メーター・ミラー



自動車1台に約3万個の部品が
が使われている。

部品は、どこでどのようにつくられているのか
調べよう。

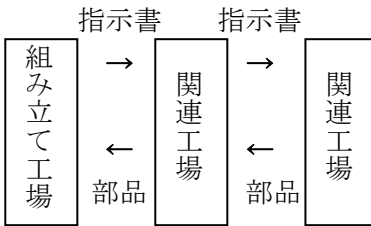
【予想】

- どこで
 - ・組み立て工場？
 - ・ちがう工場？
- ↓

【調べたこと】

- どのように
- ◎指示書
- ◎ジャスト・イン・タイム
- ◎1つのラインで多くの種類 など

◎関連工場



まとめ
部品は、関連工場で、指示書通りにつくられ、ジャスト・イン・タイムで組み立て工場にとどけるといいう工夫をしている。